

平成29年1月4日（水） 知事記者会見

知事

皆様、新年明けましておめでとうございます。

平成29年の新しい年が始まりました。県民の皆さんも清々しい気持ちで新春を迎えられたことと思います。今年は、雪もなく穏やかな元旦、三が日だったと思います。

昨年も雪が少なかったわけでありますけれども、今シーズンも今のところ雪が少なく、スキー場などでは雪不足で困っておられると聞いております。県民の皆様にとっては、雪かきなどの負担が少なくなるんですけれども、スキー場、そしてまた、除雪のためにスタンバイしている業者の皆さんなどもおられますので、また、冬物や雪かきグッズなどを販売しているお店などもございます。そういった方々にとっては、お仕事になりませんので、経済が回らないということになります。

昨年も雪が少なかったわけですが、確か3月頃になりますが、私が村山地方のある酒蔵を見学にまいりましたところ、雪でお酒を冷やそうと、そしてそれを販売するという予定を立てていたところ、雪が少なく、そのことができなかつた。そして経済が回らないもんだからお酒も売れなかつた、最悪だ、というふうに嘆いておられました。

やはり、雪国山形県としましては、適度に降ってもらうのがよいのかなと実感させられたところでありました。

さて、今年は酉年でございます。酉年は、商売繁盛につながるというふうに聞いているところです。縁起の良い年、ということでもあります。酉は、「取り込む」につながるというわけ、そこから運氣も取り込めるということのようでもあります。

県政運営で言いますと、これまで県民の皆さんのお力をお借りしながら積み重ねてきた取組みに、さらに運氣も取り込んで、「やまがた創生」を更に前へと進め、大きく羽ばたく年にしてまいりたいと考えているところであります。

やまがた創生を力強く前進させるために、私は次の5つのチャレンジを掲げたところでございます。

まず、1つ目のチャレンジであります。それは「県民総活躍」であります。

女性も男性も、子どもも大人も、若者も長寿の方も、障害のあるなしに関わらず、誰もが能力を発揮できる環境作りを進めて、互いに多様な個性を認め合い、尊重する意識を醸成してまいります。やまがた創生のためには、郷土愛を醸成するという、そういう精神的な面も大変重要なことだと考えております。県民歌「最上川」や「花笠踊り」などをもっとも活用したらよいのではないかと考えております。

また、文化やスポーツで地域振興を図るということも重要でありますので、山形駅西複

合拠点施設を核とした文化・芸術の振興を図り、オリンピック・パラリンピックのメダリスト育成を支援してまいります。

2つ目のチャレンジは、「産業イノベーション」であります。「イノベーション」は「技術革新」であります。工業も農業も、常にイノベーション、技術革新を図ることが大事だというふうに思います。商工業分野では、新たな価値の創造・拡大・発信による、活力ある産業の集積を図ってまいります。具体的には、新産業の芽出しを促進しますとともに中小企業の稼ぐ力を充実・強化します。また、県産品の輸出拡大も進めてまいります。昨年の12月に国税庁から、「清酒山形」の地域表示が認められたところではありますが、「酉」にサンズイ偏を付けますと「酒」という字になります。

昨年の5月に兵庫県で開催されました、世界最大のワイン品評会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」いわゆるIWCの「SAKE部門」メダル&トロフィー受賞酒発表会で、「純米酒の部」「吟醸酒の部」の2つで、山形県産の酒が最高の栄誉であるトロフィー受賞酒となりました。また、伊勢志摩サミットやプーチン大統領訪日の際にも本県産のワインが提供されましたし、東京工業大学の大隅栄誉教授がノーベル賞授賞式の際、関係者のためにと用意されたのも本県産の酒でありました。酉年ということでもありますので、本県産のサンズイ偏が付いた酉でありますお酒を、もっともっとPRして販売拡大にもっていければというふうに考えております。

農林水産業分野では、地域の豊かさを支え、高いブランド力で国内外に展開する農林水産業にしてまいります。具体的には、農林水産業の将来にわたる成長を支える基盤づくりを推進しますとともに、園芸にも力を入れて、「園芸大国やまがた」を実現してまいります。また、ブランド化に成功した「つや姫」の更なる定着と、山形112号のブランドを確立してまいります。さらに、「やまがた森林(モリ)ノミクス」も引き続きしっかりと推進してまいります。

観光分野では、本県の世界に誇る魅力を発信し、「観光立県山形」を確立してまいります。具体的には、食や温泉、日本遺産となった出羽三山の精神文化やユネスコの無形文化遺産登録が決まった新庄まつりなど県内各地に伝えられている本県の伝統文化、また日本一の数を誇る滝などたくさんの宝がありますので、観光資源の高付加価値化・発信力の強化を図ってまいります。さらに、外国人観光客数を大震災前の3倍、30万人を目指して、交流人口の拡大に努めてまいります。

3つ目のチャレンジは、「若者の希望実現」であります。

出会いサポートセンターの利用拡大をはじめ、結婚・出産・子育てしやすい環境整備に努めてまいります。また、子どもの多様な力を引き出す教育の推進や、若者の地域づくりへの参加を促す「出前若者ミーティング」、仮称であります。こういったことを展開して、未来を担う若者の多様な力が発揮できるようにしてまいります。

特に、県独自の奨励金を創設し、若者の正社員化を促進していく事が重要だと考えております。立場と収入が安定してこそ、結婚や出産などに一步踏み出すことができるのではないかというふうに思っております。さらに、正社員化を進めることで、富裕層と貧困層の二極化が加速しているわが国、本県の状況を是正しなければならないとの思いを強くしているところであります。有識者によりますと、わが国には年間所得209万円以下の人たちが2割にのぼっているそうであります。その分かれ目が正社員か否かということだそうでありますが、これは大変だなというふうに思っております。

わが国が世界に誇る国民健康保険などの社会保険制度の崩壊が危惧されるわけでありますし、今こそ、失われた中間層を少しでも増やすということに注力しなければならないというふうに思います。購買力のある層を増やすことで社会経済を活性化させたいと思ひますし、将来的に生活保護に頼らざるを得なくなるような、そういった人たちが増えないようにするというところに、やはり今からです、しっかり取り組んでいくことが大事ではないかというふうに思っているところです。

4つ目のチャレンジは、「健康安心社会」であります。

がん対策を推進し、県立新庄病院の改築整備を進め、安心して健康で長生きできる社会を実現してまいります。高齢者もその家族も安心して暮らせる社会、そして障害者も生き生きと暮らせる共生社会の実現を目指してまいります。また、危機管理機能の充実強化や暮らしの安全・安心の確保にも努めてまいります。

5つ目のチャレンジは、「県土強靱化」であります。

県民生活を豊かにし、交流人口を増加させるためには、インフラ整備が不可欠であります。道路では、「縦軸道路」の東北中央自動車道や日本海沿岸東北自動車道、また「横軸道路」の国道47号や国道48号、新庄酒田道路や新潟山形南部連絡道路など、本県の格子状骨格道路の早期整備に努めてまいります。

東北中央自動車道の整備も順調に進んでおりまして、平成29年度中には、福島米沢北間が開通する見込みでございます。開通しますと全8,972メートルの長大トンネルを通過して、これは無料なんですけれども、米沢から入れることとなります。時間も距離も大幅に短縮されることとなります。観光や物流など、様々な面で首都圏との相互交流が活発になり、地域経済の活性化に大いに寄与するものと期待しているところであります。

空港も港も重要なインフラだと思っております。今年の3月26日から、山形ー札幌便が就航いたします。6年半ぶりということでもありますけれども、観光やビジネスなどで、県民の皆様の利便性が高まりますとともに、北海道から本県への観光誘客拡大にもつながるというふうに考えております。

また、8月には、外航クルーズ船「コスタ・ネオロマンチカ」が酒田港へ寄港するということが予定されております。現在、重要な物流拠点として発展している酒田港であります

が、今後は観光面でも大きな役割を担っていくことが期待されます。

もちろん、オール山形によるフル規格新幹線の早期実現にもしっかりと取り組んでまいります。先般も、秋田県知事等と一緒に要望活動を行ったところではありますが、引き続き、沿線の県と連携し、地方創生のため、やまがた創生のため、頑張っている所存でございます。

このように、本県の社会インフラ整備を着実に促進し、国内外との交流を増大させてまいります。さらに、ICTの利用拡大、再生可能エネルギーの導入促進にも力を入れまして、災害に強い県土づくりを進めてまいります。

以上5つのチャレンジを力強く進め、「自然と文明が調和した新理想郷山形」を実現してまいりたいと考えております。

新理想郷として、「新（あたらしい）」という一文字をですね、理想郷の前につけさせていただきました。新理想郷としましたのは、山形県は常に進化していかなければならない、そして、価値を高めていかなければならないという思いを込めたところでございます。

さて、今年は、2月3日、4日、5日の3日間、第2回目となる「やまがた雪フェスティバル」が開催されます。雪が降るかどうかが心配ではありますが、そうしたら今日、雪が降ってまいりましたけれども、昨年以上に多くの皆さんから楽しんでいただける冬のイベントに育って欲しいなと願っているところであります。

先程、ちょっと情報を聞いたんですけれども、スキー場ですね、蔵王でありますけれども、外国人の観光客の方々が増えておりまして、スキーを楽しむ、スノボを楽しむ、という数がですね、従来よりも少ないといえますか、それよりも雪遊びをする、雪の写真を撮るというような、雪に親しむということではいらしておられる方が多かったというふうに、観光の方から聞いたところでございます。

やはり、雪というのは、本県の冬の観光の底上げに役立つのではないかなというふうに、また意を強くしたところでございます。

それから、7月末には全国規模の大会でありますインターハイが開催される予定です。本県での総合開会式を幕開けに、本県と宮城県、福島県の3県に、全国から高校生のアスリートが集まって、熱い戦いを繰り広げるわけであります。

本県が会場となりますのは、陸上競技、体操、新体操、男子バレーボール、バトミントン、ソフトボール、レスリング、登山、ホッケー、カヌーの9競技10種目であります。

ぜひ、県民の皆さん、高校生の皆さんを応援してあげていただきたいというふうに思っております。

私は知事就任以来一貫して「心の通う温かい県政」を基本姿勢に、ここ山形で暮らし続

けたいという県民の皆さんの願いや思いを何よりも大切にして、活力あふれる山形県の実現に向けて全力で取り組んでまいりました。

現在、わが国では、人口減少やまた平成 30 年に向けた米政策の見直しが進められているところでございます。

また、世界的に見ますと、イギリスの EU 離脱やアメリカの次期大統領への移行といったこともあり、ドイツやフランスのトップの選挙もあるというふうに世界的な変動があります。それらのことが、わが国、本県にどのような、特に経済にどのように影響してくるのかといったことなどは、大変不透明なところでございます。

しかしながら、私はそういった現実から、決して目を背けることなく、しっかりとここ山形の地に足をつけて、たくさんの先人達がつないできてくれた山形の力と魅力を信じて、更に山形県の価値を高めていくべく、将来に向かって、県民の皆さんと一緒に、更なる可能性を切り開いていきたいと考えているところであります。

これからも、「対話重視」「現場主義」「県民視点」を大切にしながら、県民の皆さんのため、山形みんな家族との思いで、初心を忘れず頑張ってまいりたいとの意を強くしているところでありますので、どうぞよろしく願いいたします。

本年が県民の皆様にとりまして、喜びと希望にあふれた一年となりますよう御祈念申し上げ新年の挨拶といたします。やまがた創生のために、県民の皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っておりますので、今年もどうぞよろしく願いいたします。

## ☆ フリー質問

記者

新年あけましておめでとうございます。本年もいじめないでください、というのは冗談ですけれども、まずは荘内日報の上林です。

知事、年頭の記者会見ということで、県民向けなのでしょうけれども、普通、お年玉的なものがあると思うのですけれども、何かそういった政策はないのでしょうか。

知事

お年玉ですか。

記者

的な政策はないのでしょうか。

知事

お年玉的というと、どういう意味なんですか。お年玉というのは、ちょっと意味がわからないのですけれども、記者さんはどういう意味で。

記者

サプライズというか、今まで発表してないようなこととかそういう。

知事

発表していないということですか。そうですね、全く発表していないということはちょっと。公約ももうすでに発表してございますし、全くこれまで言ってこなかったということはないかなと思いますけれども。

ただ、力を入れて申し上げたことはですね、若者の希望実現ということは、やはりこれまで、まあある程度は取り組んでまいりましたけれども、結婚や出産、子育て、そういったことには取り組んできましたけれども、もっと若いといいますか、18歳、20代といったところにですね、焦点を当ててですね、取り組みたいというようなことを申し上げたことは、今回が初めてなのかなと、まあ公約でですね、というふうに思っているところです。まあ県民総活躍ですから、もうお一人お一人に活躍して力を発揮していただきたいということですが、ちょっと私が県庁から出ましてですね、それぞれの地域を訪問させていただきまして、それぞれの地域にいらっしゃる若い人たちと、車座になって対話できるような、そういった出前若者ミーティングといったことをですね、やっていければなと思ったところでございます。

それから正社員化ということを先程、力を入れて申し上げました。それはですね、雇用というところに私は就任以来一貫して力を入れてきたように思いますけれども、やはり県民の皆さんの基盤になるからだと思います。正社員、非正社員と大きく分かりますとですね、どうしても非正規社員の方々は収入も、それから気持ちも不安定になったりしますと、なかなか結婚とか、そういったことに一歩踏み出すのが大変なのではないかというふうに思います。実際、私、調停員をしていたことがあるものですから、そういったこともお聞きをしております。ちょっと生活も不安定で離婚につながったりですね、そういったことも、ちょっと見て実感してまいりました。やはり今の現状を見ますと、富裕層と貧困層に二極化していくというのは、私は望ましい社会ではないと思っております。まあ、アメリカ以上に日本がそういう状況になりましたならば、大変なことになると思いますけれど、これはもう中央で、全国で取り組むようにという、中央政府が取り組むべきことだと私、思っておりまして、こちらからも提案していきますけれども。ここ山形県でできることは何かということですね、しっかりと考えて、できる限りの手を打っていきたいと思ったところです。先程、部長会議がありましたけれども、このことを申し上げました。そのことですね、やはり購買力のある中間層というものを少しでも増やしていければ社会活性化にもつながると思いますし、将来ですね、生活保護に頼らざるを得なくなる、そういった人達を増やさないようにする、ということも大事ではないかなと思ったところでもあります。いろいろ税の再分配というようなことも言われておりますけれども、やはり、こういう格差是正というようなところに力を少しでも入れて、私はやっぱり山形に住んで

良かったと言えますか、安心して住んで生活できるというような社会を作っていきたいなというふうに思っているところでございます。

記者

朝日新聞の前川でございます。あけましておめでとうございます。

知事、新年の所感をもう一度伺いたいんですが、明日、選挙告示ですんで、新年もお忙しかっただろうと推察するんですが、いろいろと御挨拶回りに行っていると伺っておりますし、その中でどんな話を聞いて、新年はどういうふうなお正月でしたでしょうか。

知事

そうですね。この新年ですね、本当に選挙モードと言いますか、元旦は本当に元旦祭をずっと回っておりましたし、確かにいろいろな方々もお会いをしましたけれども、皆さんおっしゃるのはですね、穏やかな一年になるといいなという声をお聞きしました。というのは、元旦が穏やかだったからだと思うんですけども、あと去年は農産物も案外良かったというようなこともあって、そしてあの台風とかですね、災害も本県は去年は少なかったというようなこともあって、割合穏やかな一年だったと、今年も穏やかな一年になればいいなというようなことをちょっと多くお聞きしたところであります。

私ももちろん、山形県に災害が今年ないといいなという、全国的にも災害がね、ないといいなというふうに、穏やかな平成になって欲しいなと思っているところでございます。

記者

山形新聞の田中です。あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

今一度ちょっと伺いたいところがあるというか、知事ご自身が選挙モードという言葉が使われたので、まあ明日、いよいよまた一つの節目を迎えられますけれども、今日の御挨拶の中でも、公約の話がかなりの時間を割かれたのかなというふうにも思いますけれども、どのようなお気持ちで明日を迎えられるか、臨まれるかというその御所感を伺いたいというふうに思います。

知事

はい、そうですね。いよいよ明日から。まあ選挙の話にはあまり入らない方がいいなというふうに思っておりますけれども、まあいよいよだな、と思っているところでございます。気を引き締めてですね、しっかりと戦ってまいりたいと。今日、明日、どなたかが立候補するかもしれませんので、本当に気を抜けないところであります。

本当に初心を忘れないことが大事だと思っています。まあ8年前のあの気持ちを忘れてはいけない、という思いで、しっかりと戦っていきたいと思っております。そしてこれまで8年やってこれましたのも、私は本当に皆さんを始め、多くの県民の皆様のお陰だなと

いうふうに感謝をしているものです。心から、そういった感謝の気持ちを持ちながら、これからも県政に邁進していきたいというふうに思っております。

県民総活躍を掲げさせていただきました。あの、そういう県民の皆さんのお力があったればこそ、つや姫もですね、ブランドになったんだと思っています。私一人の力で、そういうことはできることではないと思っています。より多くの県民の皆さんが力を発揮してくださることで、私は大変なことでも実現することができるというふうに思っているところです。この山形県の価値というものをですね、再認識してもっともっと高めていく、そのことが将来の世代に、また良い意味で、良い影響を与えていけるように頑張っていきたいなというふうに思っているところでございます。